

関係人口創出のための地域づくり事例 ～ 住民参加型の番組で地域魅力再発見 ～

実施主体：株式会社道東テレビ（津別町）

①地域の概要

オホーツク管内の最も南に位置した森林の町。道東の中心にあり、阿寒摩周国立公園、知床、釧路湿原、大雪山の国立公園が日帰り圏に位置する。産業は、網走川流域に広がる農業と森林資源を中心とした林業が中心で、日本初の「オーガニック牛乳」、雲海を一望できる「津別峠」、豊かな森林と静寂に包まれる「チミケツ湖」など様々な魅力のある町。（人口：4,621人（R1.9.30現在））

②取組の目的

町を盛り上げるため、町民が主役のインターネット番組を制作し、配信している。また、古民家を改修した「コワーキングスペース ジンバ」を運営しており、関係人口創出のため、生配信スタジオ、カフェバー、シェアバー等を併設しているほか、レンタルキャンピングカー事業やシェアハウス事業等も行っている。

③取組内容

【町や町民の魅力発信】

- 地元のテレビ局やケーブルテレビのない、映像メディアの空白エリアで、地域に開かれた放送局として、住民が自分たちのまちを語り合う番組づくりに取り組んでいる。

《多彩な番組や取組》

- ・ つべらない話
毎月第1日曜の午後7時半から、地域住民が津別への思いを本音で語り合う生放送番組
- ・ タウンニュースつべつ
町職員が地域の話題や町の取組を伝える情報番組
- ・ まちの日常を撮影
祭りやイベント、スポーツ大会などの様子をアーカイブとして保存
- ・ つべらない音楽
地元ミュージシャンが演奏を披露する番組
- ・ 土と自然とワインとなつこ
女性農業者がゲストと地域の魅力を語る番組

- 津別町中心部にあった築77年の空き家を改修し、コワーキングスペースを開業。道東テレビの生配信スタジオ、カフェバーやシェアバー等を併設。ファンや協力者をつくり、愛着をもってもらおうと、延べ400人を越える町民にリノベーションに携わってもらった。

《関係人口創出のための場づくり》

- ・ 「コワーキングスペース ジンバ」の開業
「人」が集まる場、起業や創業の準備をする「陣場」といった意味をかけて「ジンバ」と命名

- ◇ 住民が自らのまちについて語り合う様子を映像として発信することで「伝える力」が増幅。
- ◇ 今住んでいる町民の想いを100年後に届けるため、映像として記録に残す。
- ◇ 番組制作を通して、津別町の人たちが自分のまちの魅力を再発見。
- ◇ 番組制作のための取材が人脈づくりとなり、町民と一緒に番組を制作することが仲間づくりに繋がり、それがまちづくりに繋がる。「ジンバ」を拠点とし、映像を軸としてコミュニティづくりを行っている。

【その他の取組等】

- 上記事業の他に、レンタルキャンピングカー事業やシェアハウス事業等も行い、収益をあげることで、事業を商売として成立させている。

(参考URL：<http://doutou.tv/>)

④実績・効果

フェイスブックは約3,400人が登録、YouTubeで公開の一部番組では約16,000回再生を記録するなど、人口約4,600人の津別町や町民の魅力発信に貢献している。また、コワーキングスペース ジンバの貸しスペースは、北海道つべつまちづくり株式会社の社屋として利用されているほか、町の個人事業主にも活用されている。

⑤苦労・課題

道内では、まだ先駆者がいない新たな分野の取組であることから、上手く軌道に乗せることができるかという不安やリスクを抱えている。

⑥活用した制度等

- ・ 道東エリアリノベーション・プロジェクト・イン津別
(空き家を利活用したゲストハウスとコワーキングスペースの事業者を選定し援助する取り組み) (津別町)
- ・ 北海道創業ビジネスグランプリ (北海道)

本取組のお問い合わせ先

株式会社道東テレビ 電話：090-4209-1722